



オリーブ通信

2013年2月号
2013. 2. 23発行
第136号



<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

第9回BNN外国人によるスピーチ大会



2月10日(日)、栗東駅前の「さくら」にて、BNN(びわこ日本語ネットワーク)の日本語スピーチ大会が開かれました。オリーブからは、韓国出身の姜正淑(カン・ジョンスク)さんが出場しました。

出場したい人は、12月に原稿を提出し、その中から毎年15名ほどが選ばれます。今年の出場者は14名でした。発表の順番は、当日の朝にくじを引いて決めます。姜さんは14番目、最後でした。衣装は、スーツの人もいれば普段着の人もいましたが、姜さんは韓国の民族衣装(チマ・チョゴリ)でした。鮮やかなピンクで、華やかでしたよ。内容は、日本に来たばかりのころに苦労したという話でしたが、冗談もまじえた楽しいスピーチでした。話し方も堂々としていて、見事に「トリ」(順番が最後の人)を務めました。他の人のスピーチも素晴らしいものがたくさんあったので、入賞はできませんでしたが、姜さんのスピーチも輝いていましたよ!

BNNのスピーチ大会は、スピーチ以外にもいろんなことをします。

まず、スピーチの前に演奏があります。今年は「マミーズバンド 奏(かなで)」による演奏でした。そしてスピーチの後、審査結果を待つ時間にも出し物があります。今年は「世界の歌」と、ペルーのダンス「マリネラ」でした。審査結果発表の後には交流会です。出場者、スタッフだけでなく、見に来ただけのお客さんも参加できます。用意した会議室はぎゅうぎゅうづめで、大変なにぎわいでした。会場は毎年変わります。BNNは滋賀県のあちこちの日本語教室の集まりなので、スピーチ大会もあちこちで開催します。さて来年はどこになるのでしょうか?今回予選に落ちた人も、応募を見送った人も、姜さんも、来年また挑戦してくださいね。

今年スタッフとして働いたみなさん、ありがとうございました。次回もよろしく願います。

(レポート納谷久美子)

中川先生の「2013」日本語③

「お決まりになりましたら」



日本語教師をしているせい、街で聞く日本語にはやたらと敏感になる。先日熊本へ出張し、オヤツと思つた。まずはホテルのフロントで、「おかけになられてお待ちください」。そしてレストランでは、「おタバコはお吸いになれますか」(「注文がお決まりになられましたらお呼びください」)。

これらは二重敬語と呼ばれるもので、正しくは、「おかけになって...」「お吸いになりますか」という方法もあるが、ホテルやレストランなどの接客場面では待遇の高い前者が好まれるであろう。

ここで問題となるのは、「お決まりになりましたら」の二重敬語を通常にして、「お決まりになりましたら...」ができるかどうかである。

そもそも敬語(尊敬語・謙譲語)使用には、「話し手と聞き手と表現対象(話題の自分自身またはその人に関する物・行為など)が関与してくることになり、「お決まりになる」は自動詞表現で、ここには「人の行為」は関与してこない。では「お決まりになりましたら...」とすればどうか。表現上はおかしくないが、いかにも「早く決める」と催促しているようである。こんなときは「お決まりでしたら...」とすると、中立的であっさりとしている。

熊本在住の友人の日本語教師によると、熊本では敬語のシステムが単純で、すべてが「れる・られる」で片付けられると言う。そう言えば、熊本滞在中、「お一人だけ変更されますか」(ホテルの発券窓口)、「ここで飲んで行かれますか」(薬屋さん)などを耳にした。さりとして間違いとは言えないが、地方独特の表現と考えてよからう。

とにかく熊本は「よか」とい、どんな日本語も「ばってん」(×)とはならない。



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

以前、オリーブで活動されていて、昨年12月にパートナーの国であるスウェーデンに移住された新海美帆さんよりたよりが届きました。スウェーデンってどんな国???



Min Svenska Dagbok

～みほのスウェーデン日記～ #1. “スウェーデン王国”



Hej! こんにちは! 二年前までオリーブで活動させていただいていた新海美帆です。去年の12月にオリーブへ訪れた際、少しご挨拶させていただきましたが、あれからついにサンボビザ(国際カップルがスウェーデンで同棲するために与えられるビザ)でスウェーデンへ引っ越してまいりました...! 日本と時差が8時間もあるスウェーデンですが、初めに少しどんな国かを紹介させて下さい^^



スウェーデンは、北ヨーロッパスカンジナビア半島に位置する立憲君主制国家で、正式名称は“スウェーデン王国:Kingdom of Sweden”です。

第一言語はスウェーデン語ですが、国民のほとんどが英語を話す事が出来ます。面積は日本に北海道をもう一つ足したくらいのはりですが、人口は 925 万人ほどで、これは大阪市の人口とだいたい同じくらいです。

スウェーデンといえば、有名なのは IKEA でしょうが、通信機器メーカーではエリクソン、ファッションでは H&M や WeSC、自動車では VOLVO や SAAB、歌手では ABBA(マンマ・ミーア!)なども世界的に有名です。



彼と出会う前の私のスウェーデンのイメージは、「北欧のおしゃれなインテリアや雑貨、福祉大国、寒そう」だけでした。(笑) それから1年が過ぎ、私はストックホルムとヨーテボリの真ん中の örebro(エレブー)という、スウェーデンでも5番目に大きい都市(といってもスウェーデン自体が小さな国なので、小さな街です。)へ引っ越してきました。



実際にスウェーデンで見たものは、きれいな建物や北欧インテリア、店に並ぶかわいい北欧雑貨だけではなく、スーパーや服屋さんの入り口で寒い中【お金を下さい】と缶を持って座っている、移民として来たであろう女性たちや、社会経験の少ない若い人たちがアルバイトを見つけることさえ難しいという現状、さらには、一人で暮らしたくても借りられる部屋がなく、いつまでも親の家に住まざるをえない人たちなど、当初のイメージとはかけ離れた“スウェーデン”という国も見えてきました。

国の保証が固く、とてもきれいな良い国ですが、実際に住んでいるからこそ、イメージだけではないスウェーデンやヨーロッパの現状もみなさんにお伝えしていきたいと思っています。もちろん、皆さんからもし何かスウェーデンについて質問等あれば、それも記事の題材にさせていただきますので、ぜひともおもしろい質問、お待ちしております。

(新海美帆)

「日本語を教える」と一言と言っても、だれに教えるのか、到達目標が何なのかによって、使うテキストや、教え方などが変わってきます。今回の講座は、日本語教育というよりは、学習するための日本語、テストでの成績をあげるための日本語に特化したもので、外国にルーツを持つ子どもたちにとって、何が難しいのか、何をどんなふうにサポートすればいいのかが、よくわかるものでした。

参加されたオリーブメンバー尾中さんのレポートをお届けします。

講師は「子どものための日本語指導」がほとんど研究されていなかった頃から日本語指導の現場で活動されてきた田中薫先生。非母語話者の児童・生徒に対する日本語指導・教科学習の導入に関する研究、日本語力診断のための評価基準やテキストの開発などの実績をあげられており、文科省の会議にも参加されたことのある方です。

今回、個人的に強烈なインパクトを受けたのは「生徒を知ること」がいかに大切かを、長年にわたって収集されたデータなどと照らし合わせて熱弁されたことです。「生徒を知ることが指導のあり方を決定する」として、対象生徒の学力(日本語力も含む)の明確な見極めや学習習慣の把握、そしていかにして子どもの“資質”を引き出し伸ばすかの具体的な方法を、約4時間かけて力説していただきました!

基本的な「日本語」を習得できていない子どもにとっては、日本での生活“そのもの”がすべてマイナスに作用してしまうようです。日本語を母語とする人が「当たり前」にできることが出来ないという劣等感から来る「負の学習スパイラル」の実態や、異文化の中で苦しむ子どもの現状を紹介された時は、本当に心苦しく思いました。それと同時に「ことば」の持つ力の大きさと「怖さ」を知ったようにも感じました。母語話者にとって意識していないことでも、非母語話者の“心”にいかに響くのかを常々考えないといけないなと思います。ほんの小さなことが、別の側面からすれば「大きなこと」になることもあります。だからこそ相手の気持ちを汲み取ってあげられるような態度を心がけていくべきなのだと思います。

講義終了後には他団体の方々とも交流する時間を設けていただき、本当に充実した1日となりました。田中先生は最後に「これだけ多くの人々が日本語指導について考えてくれているのが嬉しい!」とお話しされました。同じ課題に取り組んでいる団体同士での、こういった交流の輪を広めていく事はとても意義深い事だと思います。多文化共生の“原点”に触れられたような気もしました。

(レポート尾中大祐)



makiの ガイドこぼればなし

その22 事前調査の徹底

さて、ここ数年京都の寺社仏閣は建物、屋根、庭などの修繕工事ラッシュです。何もそんな同時期にしくなくても…と思う毎日です。有名な場所を挙げれば、二条城、清水寺、知恩院、

本願寺などです。あらかじめ事前調査をしておかないと、知らずに訪問して「あ、しまった!!」ということになりかねません。ガイドグループ内でも修繕中のお寺、改装中の神社などの情報交換が欠かせません。先日、フィリピンからのゲストを二条城にご案内しました。現在二条城は内側の壁を修繕しています。見せ場である本堂は大丈夫なのでお連れしました。ところが実際に行って気づいたのですが、壁の修繕と一緒に重要文化財である「門」も修繕中でした。この門は「唐門(からもん)」とよばれ、どっしりと佇み、細やかで豪華な彫刻が施された、二条城の見どころの一つ、また写真スポットでもあります。私はこの「唐門」がとても好きで歴史から彫刻技術、彫られている動物達の説明が楽しく、ゲストも熱心に見入ってくださいます。しかし、この日、この愛しき「唐門」には真っ白な布が門の足場まで覆いかぶせられ、全くその姿が見られない状態に唖然としてしまいました。予期せぬ姿に私の調査不足を謝り、「大丈夫、気にしないで」と言っていたのですが、「唐門」を期待していたゲストに見せられなかったという残念な思いでいっぱいになりました。私のように頻りに観光地へ行くのならともかく、ゲストは遠くから時間とお金をかけて日本に、そして京都に来てくださる。そのゲストにとっては一生で一度の日本かもしれません。だからこそ、余すところなく京都を、日本を紹介したいと思っています。さあ、あの大好きな「唐門」に再会するまで少し時間がかかりそうですが、期待して待ってたいと思います。

(平岡 満喜)

先月の活動(1月)

日本語教室 1/12 (M) , 19 , 26 (全3回)
 まちセン運営協議会施設部会 1/17 (木) (田中一)
 BNN 会議 1/12 (土) (平岡, 納谷)

今月の活動予定(2月)

日本語教室 2/2 (M) , 16, 23 (全3回)
 まちセン運営協議会全体会 2/7 (木) (田中一)
 BNN 会議 2/2 (土) (豊村, 納谷)
 BNN スピーチ大会 2/10 (日) (尾中, 小林, 田中, 豊村, 平岡, 納谷)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または参加予定者。敬称略

♪♪おしらせ♪♪

まちづくりセンター設立10周年イベント

「笑顔でつむぐ草津の未来」

日時: 3月2日(土) 10:00~15:00

場所: まちセン3F

午後からはみんなで歌って踊る時間もあるらしい。楽しそうですね。※オーブは16:00からの後片付けに参加することになっています。みなさん、ご協力を!!

★草津ダンス街道★

オーブのパーティを盛り上げてくれた「草津ダンス道場」がいろいろなイベントをやっています。平日時間がとれる人は、おはようエクササイズ45分、おなかひきしめウォーキング30分、肩こり腰痛エレガンス1時間などに参加してみても?

すべて無料。

まちなかパフォーマンスのグランドフィナーレは3月9日(土)です。

詳しくは、HP: <http://kusatsudancenet/>

facebook 草津ダンス道場 でチェック!



滋賀を知る 環境を知る 国際交流のためのボランティア講座

◆海外の人に琵琶湖の紹介ができるようになりたい! ボランティア活動で国際交流をしてみたい! など

語学ボランティアや国際交流活動に興味のある方を対象に、ボランティア活動にあたっての基本的な心構えや、滋賀(琵琶湖)の環境についての講座を開催します。

【内容】 1.「(仮称)ボランティアのすゝめ~ボランティアってこんなに楽しい!!~」

講師: 山岡 京(やまおかみやこ)氏「外国絵本読み聞かせの会」代表/「夢うさぎこども日本伝統芸能文化実行委員会」代表

2. 滋賀の環境について(滋賀県琵琶湖環境部職員)

○日時: 2013年3月20日(水・祝) 13:30~16:30(受付開始 13:00~)

○場所: ピアザ淡海2階 207会議室(大津市におの浜1-1-20)

○参加費: 無料

○定員: 60名(先着順)

○お申込み方法: 電話(077-528-3354)でお申込みいただくか、FAX、E-mailによるお申込みは、表題にボランティア講座申込みとご記入の上、お名前、住所、電話番号をお知らせ下さい。

○お申込み・お問い合わせ: 滋賀県琵琶湖環境部環境政策課

TEL: 077-528-3354 FAX: 077-528-4844 E-mail: de00@pref.shiga.lg.jp

編集後記

はじめてオーブ通信の編集をさせていただきました。不慣れで、たくさんの方にご迷惑をお掛けしました。申し訳ございませんでした…。

少しずつ日が長くなって来ましたね。春が待ち遠しい!!

葛城

